

改善案の基本ステップ

国際ロジスティクス・SCM連盟名誉会長
日本ロジスティクスシステム学会会長
神奈川大学名誉教授
工学博士 唐澤 豊

I. 改善的提案の要点

I. 初めてのセンターか

初めてか

Yes

Yes

委託中か

No

F

1. 5S/5W1H/原則のチェック

2. ヒアリングの実施

3. 動線のチェック

4. 建屋のチェック

5. 品目配置のチェック

6. 設備機器のチェック

7. 人員・社員のチェック

8. 損益管理のチェック

9. 評価管理のチェック

II. 業務委託中のセンター

1. 問題情報収集ネットの確立
～直面問題・ヒアリング・制度

2. 改善の視点～ I. 1. - I. 9.

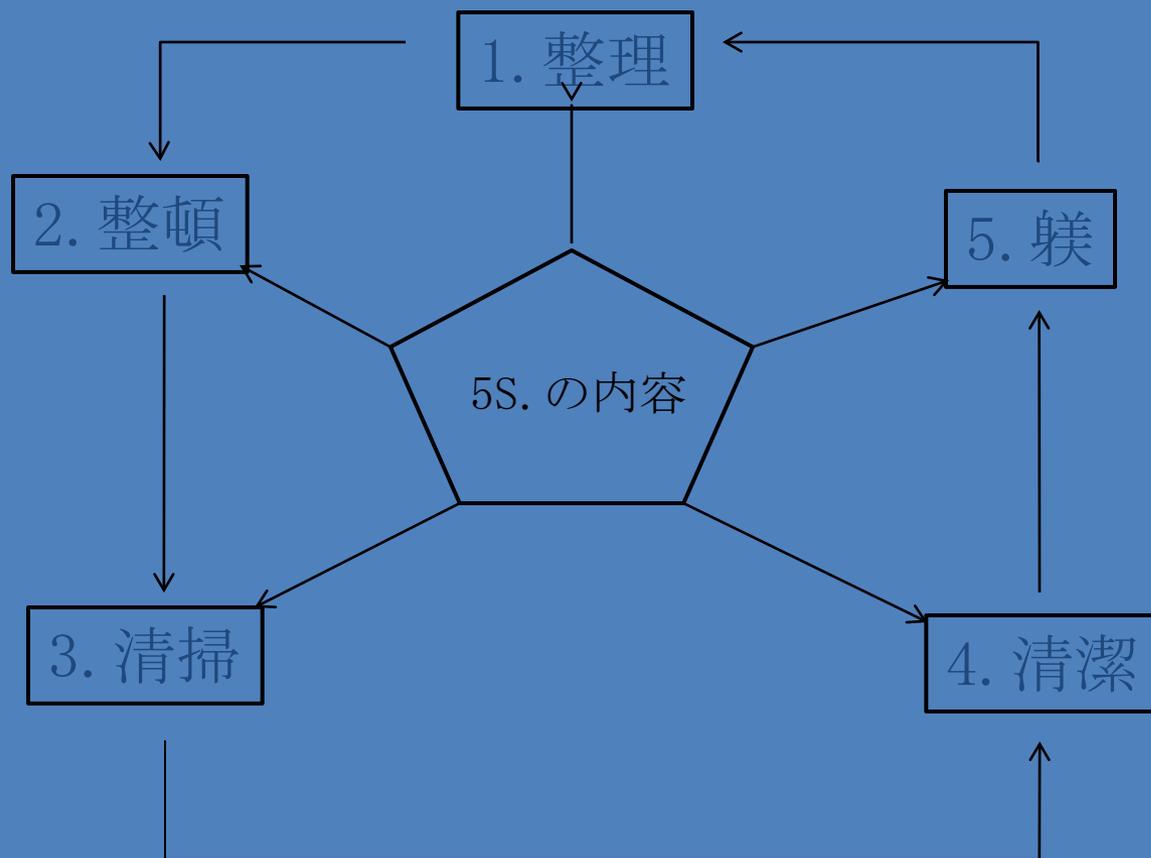
10. 改善の種類別分類整理

11. 優先順位の決定

12. 投資効率と評価の提案

13. 提案書の作成・提案

1. 1. 5S. のチェック



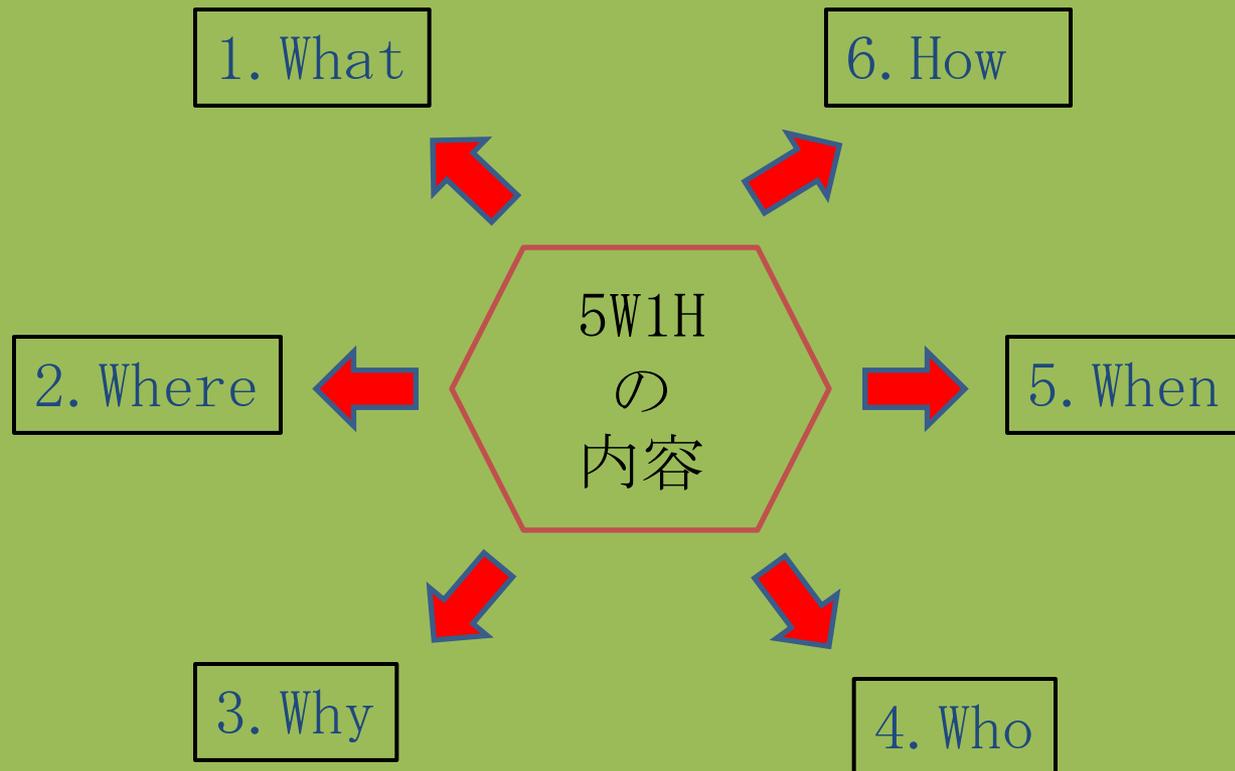
IE: Industrial Engineering

VA/VE: Value Analysis/ Value Engineering

QC: Quality Control

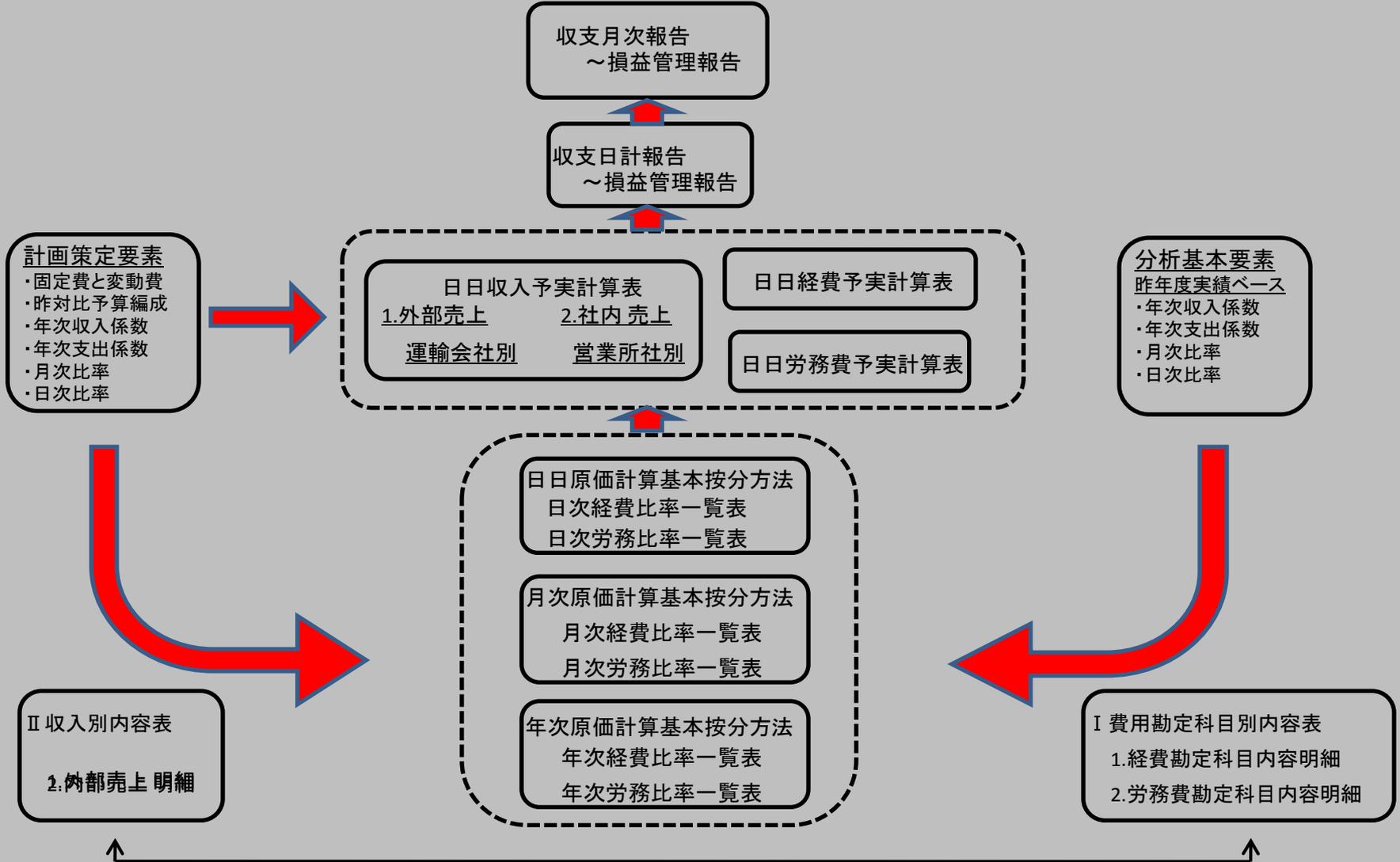
TPM: Total Preventive Maintenance

1. 2. 5W1Hのチェック



(2) 仕組みの基本

～本報告書の使用数値は架空数値であり且つ数値間の整合性は無い点に留意されたい



11. 優先順位の決定

11.1. 資源・効果マトリックス

		資源		
		大	中	小
効果	大	I.1	I.2	I.3
	中	II.1	II.2	II.3
	小	III.1	III.2	III.3

11.2. 難易度・効果マトリックス

		効果		
		大	中	小
難易度	小	IV.1	IV.2	IV.3
	中	V.1	V.2	V.3
	大	VI.1	VI.2	VI.3

11.3. 優先順位表

No.	優先順位	プロジェクト名	コメント
1	第1グループ	IV.1 V.1 IV.2	
2	第2グループ	V.2	
3	第3グループ	IV.3 V.3 VI.2	経営判断要す
4	第4グループ	VI.1 VI.3	経営判断要す

表(次ページ)による
最終決定は投資効果

12. 投資効率と評価の提案

12.1. 評価方法

- ①年価法
- ②現価法
- ③終価法
- ④利益率法

投資効率と評価

12.3. プロジェクトの定義

一覧表の作成

12.2. 条件整備

- ①対象範囲～対象システム
- ②投資期間～投資回収期間
- ③減価償却～定率法・定額法・特別償却
- ④耐用年数～法定耐用年数・経済耐用年数
特別償却
- ④物価変動～変動を配慮・Constant Price
- ⑤予測物量～予測手法・条件
- ⑥機器能力～現行能力か潜在能力
- ⑦トランザクション数～推定の根拠
- ⑧品種構成・荷姿～現状ベース・客先指示

12.4. プロジェクト別損益計算

一覧表の作成

改善案の基本ステップ

国際ロジスティクス・SCM連盟名誉会長
日本ロジスティクスシステム学会会長
神奈川大学名誉教授
工学博士 唐澤 豊